

1 図書館をめぐる社会状況

- ・「公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準について」の大臣告示
- ・貸出重視とレファレンス情報サービスとの関係
- ・電子化、インターネット導入、情報発信
- ・総合的学習への対応
- ・子ども読書活動推進法（2001）への対応
- ・地域情報発信、ビジネス支援などの動き
- ・管理部門を教育委員会から首長部局へ移す動き
  
- ・ベストセラー提供に対する生産・流通関係者からの批判をどう考えるか  
作家、ジャーナリスト、出版社、書店  
公貸権の議論の行方  
1館あたりの複本冊数制限の提案

2 コレクションをどうとらえるか

- ・図書館は「知」（資料・情報）を利用者に媒介する場であり、コレクションは最も重要な手段
- ・図書館員は知の（積極的）媒介者であるべき
  
- ・資料・情報の範囲の固定概念を捨てよう  
図書＋雑誌＋新聞＋CD＋ビデオだけ？  
「買えない資料」への積極的取り組み  
政府刊行物、地域資料、パンフレット、地図…  
対象を明確にした専門コレクション  
消費者問題、環境問題、健康医学、ビジネス…
  
- ・コレクションをつくり、提示することは創造的な行為である  
コレクションで何を表現したいのか  
排架の哲学と美学、プラグマティズム  
博物館や美術館の展示、書店の書棚ディスプレイ  
ex. 伊万里市民図書館
  
- ・資料費の減少  
自治体財政が回復したときのことを想定した計画が必要

### 3 資料収集方針をどうつくるか

例示：「藤沢市総合市民図書館資料収集方針」

「知」のダイナミクスと市民的ニーズ

「学術書」「教養書」「実用書」の関係

公立図書館と大学図書館の関係

あくまでも指針にすぎない

集団による作業の互いの了解事項

一貫したコレクションをつくる

住民に対する説明責任

#### 資料収集方針のチェックリスト

資料収集から保存・評価にいたるプロセスまで明示されているか

とくに選書にあたる組織をどのようにつくるか

コレクションのコンポーネントごとの優先順位の基準が明示されているか

利用者のフィードバック、あるいは「予約」「リクエスト」をどのように位置づけるか

コレクションの評価をどのように行うか

短期長期のコレクション計画と連動しているか

### 4 資料保存

情報資料演出の一つの方法

10年、50年、100年先のことを考えたコレクションをつくらう

コレクションの時間軸にそったバランスを考える

蓄積・保存についての配慮

保存スペースの確保

協力保存の考え方について

雑誌や新聞のバックナンバーをどうするか

「自治体で1タイトルにつき1部は残す」

演習課題：

公共図書館がベストセラーを中心とする話題の新刊書ばかりを貸し出す場になっているという評価は正しいか。

ベストセラー複本提供が出版物の売り上げを減らしているという指摘はどうか。

図書館は学術書や全集など定評ある資料を中心として提供すべしという意見をどう思うか。

選書委員を住民から有償で委嘱するという案が示されたことがあるがどう考えるか。

利用者から読み終わったベストセラーの寄贈を受けて提供することをどう考えるか。

[ 資料 ]

藤沢市総合市民図書館資料収集方針 1986年10月(一部抜粋)

[ 参考文献 ]

- ・前川恒雄『われらの図書館』筑摩書房 1987.4
- ・津野海太郎『だれのための電子図書館?』大日本印刷 ICC 本部 1999.7
- ・植田喜久次『貸出と案内の技法』日本図書館協会, 1999.10
- ・岩田雅洋『図書館をつくる』アルメディア 2000.4
  
- ・「特集・資料費削減と資料提供」『みんなの図書館』275号 2000.3
- ・「特集・『市民の図書館』の三十年」『みんなの図書館』284号 2000.12
- ・西河内靖泰「現場にふさわしいマニュアルづくりをめざす実践的選書論のための提起」『図書館評論』36、1995.7、p.86-96.
- ・大森輝久「図書館員の専門力」『みんなの図書館』1998.5 p.11-20.
- ・林望「図書館は”無料貸本屋”か」『文藝春秋』2000.12 p.294-302.
  
- ・伊藤昭治、山本昭和『本をどう選ぶか - 公立図書館の蔵書構成』日本図書館研究会、1992.12.
- ・公立図書館の経営調査委員会『こうすれば利用がふえる - 公立図書館の経営』日本図書館研究会、1997.
  
- ・三浦逸雄、根本彰『コレクションの形成と管理』(講座・図書館の理論と実際2) 雄山閣 1993.
- ・ヴァーナ・パンジトア『公共図書館の運営原理』(根本彰、小田光宏、堀川照代訳) 勁草書房 1993.12.
- ・根本彰『情報基盤としての図書館』勁草書房 2002.4.